

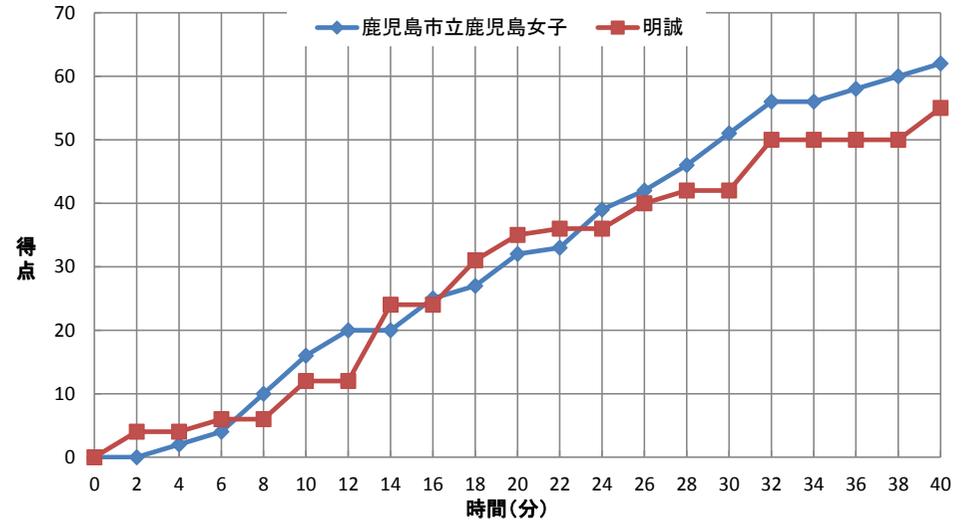


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年7月31日		9:30 開始													
1回戦		広島サンブラザ		C													
◎ 鹿児島市立鹿児島女子 (鹿児島県)		62		55 明誠 (島根県)													
		<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>23</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>13</td></tr> </table>		16	1st	12	16	2nd	23	19	3rd	7	11	4th	13		
16	1st	12															
16	2nd	23															
19	3rd	7															
11	4th	13															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
4	村田 馨	-	-	-	-	-	* 4	日高 良美	9	1	3	0	1				
* 5	折田 那緒	5	0	2	1	1	* 5	柳井 夏美	7	1	2	0	4				
6	山之内 麗	0	0	0	0	1	* 6	水津 菜月	22	3	6	1	4				
* 7	米澤 めい	14	0	6	2	3	* 7	岩田 瑞希	2	0	1	0	3				
8	伊瀬知 聖菜	0	0	0	0	0	8	大坂 柚衣菜	-	-	-	-	-				
9	向井 星奈	-	-	-	-	-	9	岩田 理沙	-	-	-	-	-				
* 10	佐伯 雅	8	2	1	0	0	10	三浦 真弥	-	-	-	-	-				
11	東 綺音	-	-	-	-	-	* 11	関口 舞奈	9	0	3	3	3				
* 12	岡村 優美	17	0	8	1	3	12	大羽 亜海	-	-	-	-	-				
13	宮寄 沙也加	-	-	-	-	-	13	大畑 亜美	6	0	3	0	5				
14	上野 美衣	-	-	-	-	-	14	長谷川 伶香	-	-	-	-	-				
* 15	井ノ上 凜	18	0	8	2	1	15	三藤 野乃	0	0	0	0	0				
コーチ	福寄 博之					0	コーチ	田中 伸子					0				
Aコーチ	松山 和子						Aコーチ										
合計		62	2	25	6	9	合計		55	5	18	4	20				
主審: 小谷将夫																	
副審: 秋葉行																	

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	13:03	19:07	31:53	39:10	:	:	:	:
TeamB	7:42	15:35	23:58	35:48	37:58	:	:	:

〔 戦 評 〕

高身長選手を数多く擁する鹿児島市立鹿児島女子高校と、高さを補って余りあるフットワークが身上の島根代表明誠高校との女子1回戦。

第1P、鹿児島女子ハーフコートマンツーマン、明誠オールコートマンツーマンでゲームスタート。明誠が開始早々激しいプレッシャーから主導権を握る。鹿児島女子はメンバーチェンジを繰り返し、開始3分に#15のゴール下のシュートでようやく初得点。明誠のシュートがリングに嫌われるなか、鹿児島女子がリバウンドからの速攻で10対6と逆転し、明誠たまたまタイムアウト。#6のスティール、#4のドライブインで明誠も追いつき、16対12の鹿児島女子4点リードで第1P終了。

第2P、高さに勝る鹿児島女子はインサイドを強調、対する明誠は激しいディフェンスでボールを奪い、#4の3Pで20対19と開始3分で1点差とする。鹿児島女子のタイムアウト後も明誠の流れは続き、#6の3Pで20対22と逆転、ゲームが動く。鹿児島女子は#15のバスケットカウントで再逆転。タイムアウトを請求した明誠は、ディフェンスを3-2ゾーンに変える。鹿児島女子#10の3P、明誠#4のドライブインと互いに譲らず32対35、明誠3点リードに変わり第2P終了。

第3P、明誠がファウルトラブルに苦むなか、鹿児島女子は着々と得点を重ね、開始4分で39対36とリードを奪い返す。鹿児島女子が#15、7のゴール下シュートで得点すれば、明誠は#13が頑張り一進一退。終了間際、鹿児島女子#12のバスケットカウントでこのゲーム最大の9点差がつく。インサイドを攻め、再逆転した鹿児島女子がじわりとリードを駆け、51対42で第3P終了。

第4P開始早々スコアが動く。鹿児島女子は#10の3P、明誠はオールコート1-2-2ゾーンプレスでボールを奪い得点を重ねる。明誠#5の速攻で56対50とリードが縮んだところで鹿児島女子がタイムアウト。チェンジを繰り返し、プレッシャーをかけた明誠に対し、冷静にボールを運んだ鹿児島女子がリードを保ったまま62対55でゲーム終了。鹿児島女子が2回戦に進出した。敗れはしたものの明誠の激しいプレッシャーディフェンス、素早い攻守の切り替えは見ごたえのある素晴らしいものであった。

戦評: 大瀬 元貴

記録: 県立広島高校